

萩原朔太郎賞決定

井坂洋子さんの『文鳥』



☎ 前橋文学館 ☎027-235-8011

第34回萩原朔太郎賞は井坂洋子さんの『文鳥』に決定しました。

最終候補(刊行順) = 『懷炉』森本孝徳(思潮社)、『中座を横から見た scene』井戸川射子(思潮社)、『文鳥』井坂洋子(思潮社)、『ソングバード』河口夏実(書肆子午線)、『朝の夜のガスパール』広瀬大志(ライトバース出版)、『いろいろ探し』うるし山千尋(七月堂)

●贈呈式・記念イベント

賞の贈呈式や選考経過の説明、朔太郎賞受賞者・井坂洋子さんの記念講演を実施します。

時 10月31日(土) 13時30分

場 前橋文学館

対 一般、先着 100人

申 10月6日(火) 9時から二次元コードの申し込みフォームで



井坂洋子さんのプロフィール



詩人。昭和24年12月16日東京都生。上智大学文学部国文科卒。

詩集に『朝礼』、『男の黒い服』、『愛の発生』、『バイオリン族』、『マーマレード・デイズ』、『地に堕ちれば済む』、『G I G I』でH氏賞受賞、『地上がまんべんなく明るんで』で高見順賞受賞、『箱入豹』で歴程賞受賞、『嵐の前』で鮎川信夫賞受賞、『七月のひと房』で現代詩花椿賞、評伝に『永瀬清子』、エッセイ集に『夜の展覧会』、『〈詩〉の誘惑』、『詩の目 詩の耳』、『詩はあなたの隣にいる』。

●受賞コメント

萩原朔太郎賞という憧れの賞をいただき、気が引き締まる思いがいたします。

十代の頃から多くの詩を読み、生きることの姿勢を教わってきました。ある詩人は傷口が光ると言い、またある詩人は欠乏こそが血の通う感受性を生むと言いました。

半世紀にわたって書き続けてこられましたのも、詩の奥深さに魅入られたからだと思います。今後は、人間の生の光と影という二面性を照射するようなことばを得たいと願っております。ありがとうございました。

萩原朔太郎の詩と音楽

マンドリンオーケストラ演奏会

☎ 前橋文学館 ☎027-235-8011



郷土の詩人・萩原朔太郎がこよなく愛したマンドリン。これにちなみ「マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭2026」を開催します。繊細で情熱的なマンドリンの響きが、朔太郎の詩情とともに、幻想的な音楽の世界へと誘います。

●マンドリンオーケストラ演奏会

演奏会は3部構成。1部と3部は、青山忠さんの指揮で高校生と社会人・大学生による2つのマンドリンオーケストラが演奏。2部は、ソプラノ歌手がピアノ演奏に合わせて、萩原朔太郎の詩を歌で披露します。



時 10月18日(日) 14時

場 昌賢学園まえばしホール大ホール

対 一般、先着 1,200人

申 当日会場へ直接

●同時開催「前橋原風景写真展」

アマチュア写真家の井上道男が撮影した昭和30年代の前橋の姿をパネルで展示します。

時 10月15日(木)～18日(日)、10時～17時

場 昌賢学園まえばしホール小展示ホール

前橋文学館が 観覧無料に

☎ 前橋文学館 ☎027-235-8011

10月10日(土)・11日(日)の前橋まつり期間と、11月1日(日)の萩原朔太郎生誕日は、前橋文学館の観覧料が無料になります。なお、前橋まつり期間中は近隣駐車場の混雑が予想されるため、公共交通機関を利用してください。

秋のばら園で

さまざまな催し楽しんで

☎ 公園管理事務所 ☎027-225-2116

敷島公園門倉テクノばら園で、10月17日(土)から11月8日(日)まで秋のバラフェスタを開催します。

●バラにまつわるマルシェ&ワークショップ

時 期間中の10時～16時

●こども向けスタンプラリー

時 期間中の土日曜・祝日、10時～15時

前橋ばら部会が栽培した

切りバラを展示・販売



☎ 農政課 ☎027-898-6707

秋のバラフェスタ開催期間に、前橋産切りバラの展示・販売を実施します。前橋ばら部会が栽培した、色や香りが異なる70品種以上を展示。前橋のバラは、農林水産大臣賞を受賞するなど、日本屈指の高

●秋ばらの魅力を探るガイドツアー

時 期間中の土日曜、10時30分・13時30分

●Rinnさんのアコーディオンコンサート

時 10月18日(日) 10時30分・13時30分

●岡田美里さんトークショー

時 10月24日(土) 11時

●藤倉チーフガーデナーによるバラの育て方教室

時 10月25日(日)、11月1日(日) 11時

●ピアノ岡部唯さんとメゾソプラノ柳澤

玖紀さんによるデュオ

時 11月3日(火) 13時30分



い品質を誇ります。販売は売り切れ次第終了です。

時〈展示〉10月24日

(土)～11月8日(日)、10

時～16時30分〈販売〉

10月24日(土) 10時

場 敷島公園門倉テクノばら園



地域とつながる 前橋工科大学 ～暮らしを支える工学～

☎ 前橋工科大事務局 ☎027-265-0111

Vol.4 大学の地域貢献とは

大学の地域貢献と聞くと、市民向けの公開講座やイベント、学生によるボランティア活動を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。もちろん、こうした取り組みは地域とのつながりを深める大切な活動です。

一方で、大学には研究機関として、地域や企業が抱える課題を解決するという重要な役割もあります。地域企業との共同研究や技術相談、新たな技術の開発などを通じて、ものづくりや防災、環境、インフラ整備など、私たちの暮らしを支えるさまざまな分

野で地域社会に貢献しています。

今回は研究活動による地域貢献の一例として、工学デザインプログラム・プロダクトデザイン研究室(江本教授担当)の取り組みを紹介します。同研究室ではグンイチパンと連携し、「消費者の意識変容を促すコミュニケーションデザイン」をテーマに、食品ロス削減に向けた共同研究を実施。消費者が食品ロスの問題を自分ごととして捉え、行動につなげるために調査研究を重ね、効果的な情報発信や参加型の仕組みづくりを検討しました。

その成果の一つが、廃棄予定のパンを活用したアイデアを募集する「レスキューパンクリエイターコンテスト」です。楽しみながら食品ロスを考える企画を通じて、参加者のクリエイティブで、主体的な参加を促しました。さらに、学生が企画・作画・編集した絵本『パーネのレスキューパン』を活用し、こどもから大人まで幅広い世代が食品ロスを学び、考える機会づくりにも取り組みました。

このように、前橋工科大では、各専門分野がそれぞれの知見を生かし、地域や企業と連携しながら地域課題の解決に取り組んでいます。大学の研究は、地域の未来を支える大切な力となっています。

